



平成 30 年 1 月 26 日

各 位

東京都千代田区外神田四丁目 14 番 1 号
 株式会社 アクセル
 代表取締役社長 松浦 一 教
 (コード番号 6730 東証第 1 部)
 問い合わせ先
 取締役 管理グループ 千代進 弘
 ゼネラルマネージャー
 電 話 03-5298-1670

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 1 月 26 日開催の取締役会において、以下の通り、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 4 月 25 日に開示した平成 30 年 3 月期の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

業績予想の修正について

平成 30 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,900	20	20	45	4.02
今回修正予想 (B)	8,500	90	90	30	2.68
増 減 額 (B - A)	△1,400	70	70	△15	-
増 減 率 (%)	△14.1	350.0	350.0	△33.3	-
(ご参考) 前期実績	8,012	141	162	92	8.30

修正の理由

当社の主力市場であるパチンコ・パチスロ機市場は、レジャーの多様化や近年の依存症対策を目的とした業界団体による自主規制の影響等により、遊技人口は減傾向を示すなど市場環境は厳しい状況が続いております。また、平成 30 年 2 月には改正「風適法施行規則等」の施行が控えており、先行きの不透明さから遊技ホールの新台購入意欲が低迷するなど、足元の市場環境は特に厳しい状況となっております。

このような状況の中、主力製品であるパチンコ・パチスロ機向けグラフィックス LSI につきましては、市場環境に加え主要顧客のリユース（再使用）比率が上昇したことにより、当初計画の 88 万個に対し 24 万個減となる約 64 万個の販売にとどまる見通しとなりました。一方、同市場向けのその他製品につきましては、当社製品採用顧客の好調な販売動向により、当初計画を上回る見通しになりました。このような状況を総合的に検討した結果、売上高につきましては当初計画比 14.1%減となる 8,500 百万円（同 1,400 百万円減）に修正することといたしました。

売上総利益につきましては、売上高の減収に伴い当初計画比 20.5%減の 3,100 百万円（同 800 百万円減）に、販売費及び一般管理費につきましては、主に足元の開発状況を鑑み研究開発費の支出時期の一部を見直したことにより、当初計画比 22.4%減となる 3,010 百万円（同 870 百万円減）に見直しました。以上により、営業利益 90 百万円（同 70 百万円増）、経常利益 90 百万円（同 70 百万円増）に修正いたしました。また、平成 30 年 1 月 25 日に公表しました「投資有価証券売却益（特別利

益) 及び投資有価証券評価損(特別損失)の計上に関するお知らせ」に記載の投資有価証券売却益(99百万円)、投資有価証券評価損(138百万円)の計上により当期純利益は30百万円(同15百万円減)に修正いたしました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上